

登録コード	UAJ02500	開講年度	2026				
授業題目	租税法学					担当教員	SHEN TIAN TIAN
						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学, 2 3 UAカリ・総人社・法学						
	【法学】法学分野の高度な知識を身につけ、法を解釈適用できる能力を有する。					租税法の高度な知識を身につけ、法を解釈適用できる能力を有する。	
(2)授業の概要	私たちは給与や買い物を通じて日常的に税に接していますが、その法的根拠や仕組みを深く知る機会は多くありません。本講義では租税制度の構造を体系的に学びます。前半は租税法律主義や公平主義などの基本原則と徴収手続を確認し、租税法固有の解釈方法を習得します。後半は、基幹税である所得税に焦点を当てます。個人の担税力をいかに捉え、私的領域における諸要素をどう反映させるかという法的問題を、判例や文献を用いて多角的に検討します。身近な事例を自らの頭で論理的に読み解く力を養い、租税法の原理的理解を目指します。 ＊Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とします。ZoomミーティングのURLは、メール等にて知らせます。						
(3)授業計画	第1回 ガイダンス／租税法の位置付け 第2回 租税立法の原則 第3回 租税と行政 第4回 租税法の解釈と適用 第5回 租税法の解釈と適用 第6回 租税争訟制度 第7回 所得概念／日本の所得税制 第8回 所得税法の納税義務者／課税単位 第9回 所得の分類／所得税額の計算の順序 第10回 給与所得、退職所得と事業所得 第11回 一時所得と雑所得 第12回 利子所得と配当所得 第13回 山林所得と不動産所得 第14回 譲渡所得						
(4)成績評価の方法	期末レポート試験（80％）および各回の授業への積極的参加（20％）により評価します。						
(5)成績評価の基準	租税法の体系やルール、所得税法の仕組みを説明し、基本的な所得計算を通じて、個人に関わる所得課税の構造と問題点に対して一定程度の理解が示されていれば「水準にある」。 租税法に関する基礎理論を正確に理解し、それを具体的事案に的確に適用できることが示されていれば「やや上にある」。 さらに関連する規範の趣旨や背景も含めて深い考察がなされていれば「かなり上にある」。 その上で、現実の法的課題に対する解決策まで明確に指摘できれば「卓越している」。						
(6)事前事後学習の内容	【予習】 配布資料や参考書の該当箇所を確認する。特に指定された判例については、事実の概要と判旨を整理し、内容を十分に理解した上で授業に臨むこと。 【復習】 授業内容を振り返り、講義で扱った理論や判例のロジックについて、その要点を自分なりに説明できるように整理すること。						
(7)履修上の注意	租税法は、私法上の概念や行政手続のルールを前提とする分野です。そのため、民法および行政法についての基礎的な理解が必要となります。これらの関連科目を既に履修済みであるか、あるいは並行して履修していることが望まれます。						
(8)質問,相談への対応	原則として毎授業後に受け付けるほか、個別に対応します。						
【教科書】	中里実ほか編『租税法概説（第5版）』（有斐閣、2025年）						
【参考書】	金子宏・佐藤英明・増井良啓・渋谷雅弘『ケースブック租税法（第6版）』（弘文堂、2023年）						